

## 入院診療運営部

### 1. スタッフ（平成28年4月1日現在）

部長（教授）	山本 博徳（兼務）	
副部長（教授）	松村 正巳（兼務）	
	（教授）細谷 好則（兼務）	
	（地域医療連携・患者支援副部長）	
	小谷 妙子（兼務）	
幹事（教授）	西野 宏（兼務）	
	（准教授）興梶 貴英（兼務）	
	（看護師長）亀田美智子（兼務）	
	（室長）金子 操（兼務）	
	（課長）藤野 重人（兼務）	
部員	病棟医長	33名
	看護師長	7名
	医療技術職技師	7名
	事務	4名

### 2. 入院診療運営部の特徴

入院診療運営部は、入院診療における課題の抽出及びその解決のための方策についての検討等、入院診療に関して病院執行部の支援に必要な業務を行っている。

### 3. 実績

#### ①病床利用率の向上に向けて

病床稼働率の低下を受けて、稼働率改善のために以下の点について検討をおこない稼働率向上の取り組みについて周知した。

1. 緊急入院患者の積極的な受け入れ
2. 待機予約患者の前倒し入院
3. 土曜日退院、日曜日入院の検討
4. 共用床、他病棟の積極的な活用
5. お盆・9月の連休時における外泊の適正な管理

#### ②退院サマリーの作成向上について

病院機能評価を受ける際の指標として退院2週間以内に退院サマリーが完成していることが要件となっているため、退院サマリーの作成状況をチェックし作成率が向上するよう支援した。

[退院サマリー完成率実績]

26年度	45.2%
27年4月	57.4%
28年3月	94.7% (3/7現在)

#### ③入院診療計画書の作成向上について

入院診療計画書は入院患者に対して原則交付することが保険診療上のルールとなっているため、入院診療計画書の

作成状況をチェックし作成率が向上するよう支援した。

#### ④病棟間の諸問題について

循環器内科への術前コンサルト、重症患者のICUからの退室、オーバーナイト入院症例の取り扱い等の問題点を提示し改善できるよう支援した。

#### ⑤病床利用に関する「固有床」と「共用床」の見直しについて

呼吸器内科病棟の病床について問題点と改善案を検討し「固有床」と「共用床」の見直しについて支援した。

#### ⑥病床に関するアンケート調査の実施

「固有床」と「共用床」の病床運用制度がスタートして1年が経過した。アンケート調査を実施することで情報を収集し分析するとともに現状を把握することで各病棟の病床運営を支援した。

#### ⑦個室利用の促進

病床稼働率の向上や保有する資源を有効的に活用することを目的に、個室利用ワーキンググループを設置し、個室利用の促進の方策やより良い療養環境の整備等についての検討の支援を行った。

#### ⑧入院診療運営部に関連する以下の委員会からの報告を受けた。

- ・輸血療法委員会
- ・栄養管理委員会
- ・NST運営委員会
- ・褥瘡対策委員会

### 4. 事業計画・来年の目標等

適時、入院診療における診療科横断的な課題等の情報を収集し、分析を行い、解決のための方策を立案するなど円滑な運営体制の支援を推進する。